

令和5年度 第6回 看護小規模多機能型居宅介護やまどり 運営推進会議報告書

実施日・時間	令和5年6月20日(火) 午後3時～午後4時
開催場所	西古室自治会館
参加者	事業者:4名 利用者ご家族:0名 住民代表:6名 包括職員:0名 市役所職員1名

議題

1. 開会のあいさつ

施設長あいさつ

「新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、日常生活が戻ってきました。しかし、ウィルスが消失したわけではありませんので、私たちは日常をとりもどしつつも感染対策をしっかりと行う、メリハリのある活動が求められています。当施設においても、季節の活動を行いつつ、安心してご利用いただけるよう、日々努力し、運営を継続しております。本日もどうぞよろしくお願いいたします。」

2. やまどりの運営状況

令和5年6月現在

登録者数:15名

平均要介護度 要介護 2.7

ご利用者様の動向

- ・1名6月いっぱいでご卒業
- ・1名リハビリ病院を退院後利用開始予定
- ・1名治療のため入院
- ・1名施設内にてお看取り

3. 地域との交流

- ・西古室2の交流会への参加

4. その他ご意見、ご要望等

- ・特にありませんでした。

5. ミニ講座「「健康を守るために」～病院にかかることでお困りはないですか

__第二回「健康診断編」

健康診断に関してわかりづらいこと、一緒に考えましょう

講師:林 江美医師(やまどり医院)

地域の方からの質問

- ・大きな病気をして以降、その病院で定期健診を受けているので、市民検診は二重になるかなと思って受けていない、いいのかなと少し思う。

⇒主治医の医院へそのデータを持って行って身体の状態を把握してもらうことで、風邪をひいたときに、この薬でいい

のかなという判断材料になります・

・血液検査のデータ、ずっと置いているけど、置いとくもの？いずれ自分でデータ化しようかと考えてもいる

⇒ずっと取っておいてもいいのでは。ここ4、5年の単位で保管するのがいいのでは。データ化、いいですね。

・70才までは健康不安がなかったが、80才になってから身体の変化を感じる。夜中にトイレによく起きようになった
主治医に泌尿器科を紹介されて精査中。がんと言われたら治療が開始されるのか。

⇒がんの治療等はその人、年齢、がんの状況により、様々。年齢が高いと進行も遅い場合もあるので、様子をみてということもあります。

・痛みが取れず、様々の病院を回ってさまざまな検査を実施した。手術もした。でも治らない。病院では痛い時に受診するようにと言われるが、痛いときには動けない。受診のタイミングは難しい。

⇒痛み、めまい、耳鳴りなど原因がつかめないこともよくある。以前は検査入院があったが、今はあまりない。

⇒現在は「予防医学」といって、まずは自覚症状のないところから病気の芽を見つけ、早い段階で治療することに重点を置いている。そのためにも定期的な健康診断を受けることは必要です。

・処方薬の数は医院や病院によって違う場合はある。たくさん薬を出してくれるお医者さんがいいお医者さん？

⇒医院、病院にかかる中で、疑問に思ったことは「セカンドオピニオン」といって他で確認をとることもできます
病院、お医者さんとは相性もある。その人その人で相性も違うので、相性のいい病院にかかることを
お勧めします。

★次回第6回運営推進会議：令和5年8月を予定しています。（第3火曜日はお盆に当たるため検討中）